

令和8年 第2回定例会

一 般 質 問

〔個 人 質 問〕

印 西 市 議 会

令和8年第2回定例会一般質問（個人質問）一覧

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	18番	板 橋 睦	登壇一問一答方式
2	9番	稲 葉 健	登壇一問一答方式
3	4番	鈴 木 博 美	一問一答方式
4	16番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答方式
5	7番	林 勝 利	登壇一問一答方式
6	19番	山 田 喜代子	登壇一問一答方式
7	15番	松 尾 榮 子	一問一答方式
8	11番	米 井 重 行	登壇一問一答方式
9	8番	松 谷 知 美	一問一答方式
10	2番	大 野 忠 寄	一問一答方式
11	20番	藤 江 研 一	一問一答方式
12	14番	増 田 葉 子	一問一答方式
13	12番	岩 崎 成 子	一問一答方式
14	13番	海老原 作 一	一問一答方式
15	6番	都 築 真理子	一問一答方式
16	5番	津 田 憲 吾	一問一答方式
17	3番	加 藤 亮 二	一問一答方式
18	1番	大 崎 亜 希	一問一答方式
19	10番	小 川 利 彦	一問一答方式

# 質 問 1

質問者 18番 板橋 睦

- 1 改正道路交通法施行（自転車の青切符制度）について
  - (1) 施行後の現状について
    - ①信号無視、一時停止、歩道での徐行違反等について
    - ②ながらスマホについて
    - ③傘さし、イヤホン運転について
    - ④自転車道について
  - (2) 小学生について
    - ①安全運転の指導について
  - (3) 中学生について
    - ①安全運転の指導について
    - ②自転車通学生の安全対策について
    - ③自転車通学路の安全の確認・確保について
  
- 2 病院問題について
  - (1) 現状認識について
  - (2) 印西診療所閉鎖後の対策について
  - (3) 2次救急病院誘致の考えについて
  - (4) 印旛医療圏の病床配置について
  
- 3 文化財の保護について
  - (1) 有形文化財について
  - (2) 無形文化財について
  
- 4 道路問題について
  - (1) 平岡自然公園入口交差点について
  - (2) 佐倉印西線と市道竜腹寺線との交差点について
  - (3) 佐倉印西線の荒野交差点について
  - (4) 松山下公園アクセス道路について
    - ①整備計画の経緯について
    - ②これまでの取り組み状況について
    - ③令和7年度、令和8年度と2年続けて予算措置されないがなぜか。

# 質 問 2

質問者 9 番 稲 葉 健

## 1 まちなか音楽祭の開催について

- (1) 以下について伺う。
  - ①出演組数、参加者数
  - ②来場者数
  - ③経済効果について
- (2) 市民の声について伺う。
- (3) 実行委員会の見解について伺う。
- (4) 第5回開催したことについての市の見解を伺う。
- (5) 今後について

## 2 図書館課について

- (1) 図書館課設立の背景と目的
  - ①新たに設立された図書館課の背景として、どのようなニーズがあると考えているか。
  - ②また課題は。
  - ③図書館課の設立により、印西市としてどのような目標を達成したいと考えているのか。
- (2) 具体的なサービスや施策
  - ①図書館課では、どのような新しいサービスやプログラムを計画しているか。
  - ②利用者に対し、どのような利便性を提供することが目指されているのか。
- (3) 地域住民との関係構築
  - ①図書館課は地域住民との関係をどのように構築していく計画か。
  - ②地域の意見やニーズをどのように反映していくのか、具体的な取り組みについて
- (4) 今後の展望
  - ①図書館課の今後の展望や長期的なビジョンについて、どのように考えているか。
  - ②地域文化の活性化に向けて、図書館課が果たす役割について伺う。

## 3 「光堂の竜」について

令和8年3月31日に市は市独自の民話絵本としての第2弾「光堂の竜」を発行した。令和8年第1回定例会では、作品の内容やテーマ、原画スタイル等の詳細について質問した。今回は、主に配布や頒布方法、活用方法につ

いて詳細を伺う。

(1) 頒布方法について

①現在の無償配布実績について伺う。

②現在の頒布方法について伺う。

(2) 活用方法について

①活用にあたり、市では庁舎内でどのような検討が行われたか。

②現在予定されている活用方法について伺う。

4 行政依頼配付物（町内会等への行政回覧文書）について

市では、市政情報の提供や市民のみなさんへの協力依頼などの行政依頼配付物を、町内会長・自治会長・町会長・区長を通じて、回覧・配付している。令和8年4月より配付について変更がなされた。以下詳細を伺っていく。

(1) どのような点が変わったか伺う。

(2) 変わったことの影響について伺う。

5 成田空港の機能強化に対する市の取り組みについて

(1) 印西市の経済機会

①成田空港の機能強化が地域経済に与える影響について、どのような調査や分析が行われているのか。

②成田空港の機能強化が印西市の経済にどのような機会をもたらすと考えているのか。

③地域の中小企業や地場産業との連携強化のための具体的な取り組みは検討されているか。

(2) 他市との連携による地域振興

①成田空港の機能強化に伴い、印西市だけでなく近隣市との連携について伺う。

(3) 情報共有と協力体制の構築

①周辺市との連携を強化するために、成田空港の機能強化に関する情報の共有について伺う。

## 質 問 3

質問者 4番 鈴木 博 美

- 1 災害時の避難環境の改善
  - (1) 災害時のペット同行避難の実効性
  - (2) 避難所のトイレ環境
  - (3) 避難所受付の円滑化
  
- 2 情報アクセシビリティと防災情報支援
  - (1) 音声コード・JAVIS 活用促進
  - (2) 耳で聴くハザードマップの認知度向上と活用促進
  
- 3 市民生活への支援
  - (1) 高齢者に対する物価高騰対策
    - ①高齢者ギフト券の取扱加盟店における利便性の向上
  - (2) 水道料金の減免対応と市民負担の公平性
    - ①市営水道における水道料金の負担軽減策とその実施体制
    - ②専用水道等を利用する世帯への実態把握と生活支援のあり方
  - (3) 麻しん・風しん1回接種世代への対応
  - (4) ごみ分別検索の改善

## 質 問 4

質問者 16番 軍 司 俊 紀

- 1 広域都市計画マスタープラン変更と印西市の将来都市像について  
現在、県や市において「印旛広域都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」及び「印西都市計画区域区分」の変更案が縦覧されている。  
今回の資料では、将来人口フレーム等が示されているが、市民にとっては、この変更により何がかわるのか、どのような都市像を想定しているのか、市民生活へどのような影響があるのかが極めて分かりにくい状況にある。一方で、この変更案は人口フレームや区域区分は、将来的な市街化区域編入や土地利用転換の根拠となる可能性があり、本市の今後の都市構造に大きな影響

を与える重要な計画であると考える。

また、本市では近年データセンターや物流施設等、従来の都市計画制度では充分想定されてこなかった土地利用需要が急速に高まっている。

こうした状況を踏まえ、市としてどのような将来都市像を描き、広域都市計画と整合を図っていくのか伺う。

(1) 今回の広域都市計画変更の位置付けについて

今回の「印西都市計画区域区分変更」における人口フレームの設定について、市として、どのような都市構造変化、土地利用需要、市街地需要を想定しているのか。

人口フレームの設定は、将来的な市街化区域編入や都市的土地利用の拡大を判断する基礎ともなり得るが、市は今回の変更をどのような意味を持つものと認識しているのか。

(2) データセンター等、新たな都市需要との関係について

従来の都市計画や地区計画では、にぎわい、景観、歩行者空間、居住環境を前提としてきた区域が市内には多い。一方で、今後もデータセンターの立地が予測される中で、広域都市計画、都市マスタープラン、地区計画の整合性は短期的、長期的にどのように整理していくのか。

市として、データセンターを単なる個別施設立地として捉えるのか、それとも今後の都市機能や産業基盤を支える次世代インフラとして位置付けていく考えなのか伺う。

(3) 印西市は「快適で魅力的な居住都市」として発展してきた。今後、人口増加、物流需要、広域交通、データインフラ等が進む中で、緑地、景観、子育て環境、歩けるまち、地域コミュニティ等、印西市らしい都市環境をどのように維持・形成していく考えか。

また最近、市民の間では、大規模宗教施設や変電施設等、新たな都市施設の立地に対する関心や不安の声も聞かれる。こうした施設について、市では今後の都市環境や土地利用政策の中で、どのように位置付けていく考えか。

## 2 印西市教育ビジョンについて

印西市教育委員会（及び市全体）では「印西市教育ビジョン」を3月25日に公表した。本ビジョンは令和12年度までの5年間の計画としており、その記載内容を見ると現在、中央教育審議会で議論されている次期学習指導要領で重視される内容（例えば「個別最適な学び」「協働的な学び」「生成AI活用」「情報活用能力の向上」等）を積極的に推進していくように見られる。

印西市教育ビジョンでは「3つのプロジェクトを柱とし、印西市の強みと特色を活かした10の施策を展開します」とあるが、以下の点についての懸念が残る。市当局や市教委はどのように考えるのか。

- (1) 教職員不足への対応について
- (2) ビジョン推進のための組織体制について
- (3) 次期学習指導要領の方向性の実現可能性
- (4) 全体の実行力と持続可能性について

### 3 富士山大規模噴火に伴う広域降灰対策と本市の防災計画について

国は、令和7年3月に「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」を公表した。このガイドラインでは、緊急的な命の危険は低くとも都市機能が麻痺するという降灰特有のリスクを踏まえ、人口の多い首都圏においては「原則として降灰域内に留まり、在宅生活を継続する（在宅避難）」という基本方針が新たに示されている。

これを受け、千葉県においても、国の最新ガイドラインを反映させた「富士山等の噴火に伴う降灰対策に関する対応指針」を今年4月に改定したばかりである。

市では、具体的な現場対応（道路・インフラ管理）を落とし込んだ計画策定はどのような状況になっているのか。

- (1) 国・県の指針に伴う、本市「地域防災計画」への反映について
- (2) 在宅避難を維持するための「市民への啓発」と「備蓄の強化」について
- (3) 都市機能を回復させるための「除灰（火山灰の除去・処分）計画」について

### 4 印西牧の原駅圏の諸課題について

- (1) (仮称) 東の原義務教育学校設置に向けての進捗
- (2) 複合施設整備に係るサウンディング型市場調査の結果を受けての今後のスケジュール
- (3) 交通安全対策について
  - ①信号及び横断歩道の設置要望
  - ②自転車通行帯（車道、歩道）

# 質 問 5

質問者 7番 林 勝 利

1 外来生物セアカゴケグモへの市の対応について伺う。

夏季を迎え、セアカゴケグモの活動が活発化する時期となることから、市内における確認状況及び公共施設における安全対策、市民への注意喚起について伺う。

- (1) 市内におけるセアカゴケグモの発見及び通報状況について伺う。
- (2) 市として把握している生息状況及び発見時の対応体制について伺う。
- (3) 公園、学校、保育施設等の公共施設における点検及び安全対策について伺う。
- (4) 夏季に向けた市民への注意喚起及び周知啓発の取り組みについて伺う。
- (5) 今後の発生防止及び被害防止に向けた取り組みについて伺う。

2 部活動地域移行について伺う。

本市では、学校部活動の地域移行を進めており、モデル事業を経て、令和8年度9月から休日部活動の全面移行が予定されている。

教員の働き方改革や持続可能な活動環境整備は重要である一方、部活動は生徒の協調性や社会性、人間形成にも大きな役割を果たす教育活動の一環であると考えます。

また、全面移行に向けては、指導者確保や活動環境、保護者負担など様々な課題も想定される。

- (1) モデル事業の成果と課題について伺う。
  - ①モデル事業を通じて得られた成果をどのように認識しているか伺う。
  - ②モデル事業を進める中で明らかになった課題は何か伺う。
  - ③生徒・保護者・学校現場からはどのような意見が寄せられているか伺う。
- (2) 令和8年度9月からの全面移行について
  - ①休日部活動全面移行の具体的なスケジュールはどのように検討しているか伺う。
  - ②全種目における受け皿の整備はどの程度進んでいるのか現状を伺う。
  - ③指導者確保の現状と課題をどのように認識しているか市の見解を伺う。
  - ④地域移行後においても、部活動の教育的意義をどのように継承していくのか市の見解を伺う。
- (3) 子どもの活動環境について
  - ①経済的事情等によって参加機会に格差が生じないための配慮はなされているか伺う。
  - ②多様な生徒が参加できる環境づくりをどのように進めるのか市の考えを

伺う。

3 本市の教育バウチャー制度導入について伺う。

市長公約実現に向けたロードマップに教育バウチャー制度の検討が位置付けられている中、これまで市は「他自治体の状況を調査研究する」と答弁してきた。そこで、調査研究によって把握した制度の成果や課題を確認するとともに、家庭環境による教育機会格差や不登校児童生徒への多様な学び支援に対する本制度の有効性について、市の認識を伺う。

また、本市における導入可能性やモデル事業実施の考えについて、以下の質問をする。

- (1) これまで実施してきた他自治体の調査研究により、どのような成果や効果を把握しているのか伺う。
- (2) 教育バウチャー制度導入にあたり、どのような課題があると認識しているのか市の見解を伺う。
- (3) 家庭環境による教育機会格差や、不登校児童生徒への多様な学び支援に対し、本制度が果たす役割についてどのように考えているのか伺う。
- (4) 市長公約ロードマップに掲げる教育環境の充実との整合性を踏まえ、本市における教育バウチャー制度の導入可能性について、市の見解を伺う。
- (5) 先行して低所得世帯や不登校支援などを対象としたモデル事業を実施する考えはあるか市の考えを伺う。

## 質 問 6

質問者 19番 山 田 喜代子

1 Inzai 5 データセンター及び地区計画の進捗について

- (1) 令和4年に北東側のマンション住民がマンションを購入し、令和5年1月に土地売買がされているという時間軸ではデータセンターの方が先に計画されていたというのは事実と反すると考えられるが、このように説明した(株)千葉ニュータウンセンターに対して市の認識はどうか。
- (2) 市長就任の1年半前に土地売買が市も含めて認められていることが分かる。市の情報伝達ラインとして、なぜこのような重大な情報を市長就任後、すぐに報告しなかったのか。

- (3) 昨年12月、住民主催の説明会があった。多くの質問が寄せられた。これら住民の質問を受けて、市が事業者に対して行政指導を含めた具体的なアクション、その他、県に対しての報告や相談事項はないのか。
- (4) 市長への手紙の回答はいつ行われるのか。
- (5) Inzai 5 データセンターの問題が世界的高級英字紙 Financial Times に掲載された。この内容についての行政としての認識、改善対応を伺う。
- (6) 地区計画の進捗状況について説明を求める。
- (7) 今後のデータセンター建設計画はあるのか。

## 2 誰でも安心して外出できるまちに

- (1) 県道千葉竜ヶ崎線に横断歩道の設置を  
鹿黒南にクリニックが開設され、近くにバス停も設置されている。しかし、横断歩道がないため、ひとつ手前のバス停を降り歩くことになる。早急な設置を求める。
- (2) JR木下・小林駅に駅員の配置を求める、その考えはないか。車いすユーザーが駅を利用できないことに対し市はどう対応していくのか。
- (3) 市内には多くの十字路がある。歩行者、ドライバー双方にとって安全性の高い歩車分離式信号を設置する考えはないか。
- (4) 中央公民館六幸橋付近に街灯の設置を求める。他の公共施設に対しても設置の要望は把握しているか。
- (5) 民有地の樹木等の繁茂により想定される事故への対応をどう考えるか。また、どう対応してきたか。

## 3 公共施設をより便利に

- (1) 公共施設にコピー機の設置を求める。考えはどうか。
- (2) 暑さ対策も含め給水器（冷水器）の設置を求める。考えはどうか。
- (3) コスモスパレット駐車場は利用しやすいとの認識か。
- (4) これまでの市民の要求はどのようなもので、その要求に応じてきたという認識か。

## 4 草深地区における変電所新設計画について

- (1) 新設によるまちづくり、市民、地域への影響をどう考えるか。

# 質 問 7

質問者 15番 松 尾 榮 子

## 1 印旛広域都市圏都市マスタープランと印西市内の開発について

少子化・人口減少社会の進展の中で、効果的な都市機能の整備や災害対応を図っていこうと、千葉県は県内に6つの広域都市圏を定め、圏域ごとに広域都市圏都市マスタープランの策定を進めている。印西市は成田市・佐倉市・四街道市・八街市・白井市・富里市・酒々井町・栄町と共に、印旛広域都市圏として、成田空港の拡張事業等を踏まえた産業集積、幹線道路の整備、観光資源開発等により、国際的な産業拠点形成や雇用増、居住の場の創出を図る地域と位置付けられている。そこで伺う。

- (1) 印旛広域都市圏マスタープランにおける印西市の位置付け
- (2) 圏域の重要な幹線道路「北千葉道路」の整備状況
- (3) 成田空港機能強化の延伸見込みと都市マスタープランへの影響
- (4) コンパクトプラスネットワーク型の都市構造について
- (5) 印旛中央地区の開発について
- (6) 牧の原駅圏の開発について
  - ①牧の原東地区地区計画の変更
  - ②牧の原駅圏複合施設
- (7) 中央駅タウンセンター地区のまちづくりについて

## 2 部活動地域移行（展開）について

印西市では令和7年9月から、軟式野球、女子バレーボールの2種目について休日部活動の地域移行のモデル実施を開始、令和8年9月からは印西NEXUSとして、残り全種目の地域クラブ活動が開始予定となっている。そこで伺う。

- (1) 各種目別の実施体制と準備状況
- (2) 指導者の配置状況
- (3) 生徒の参加見込み状況
- (4) 部活動通部時・実施時の安全性の確保について
- (5) 大会参加時等の送迎体制について
- (6) 物価高・経済的事情でスポーツ等を続けられない子どもへの支援・体験格差の解消について

## 3 イオンモール株式会社との包括連携協定に基づく全天候型子どもの遊び場整備について

前回令和8年第1回定例会での質問に対し、「①対象：0歳～12歳②アク

ティブゾーン・クラフトゾーンのある複合型の子どもの遊び場③場所：トイザラス縮小後の約1270㎡④運営：印西市・白井市が共同で予定」との回答をいただいた。そこで伺う。

- (1) 準備状況
- (2) アクティブゾーン、クラフトゾーンの具体的な施設・遊具等の内容
- (3) 整備費用と負担割合
- (4) 運営体制について。印西市・白井市が包括連携協定により共同で運営とすることであるが、具体的にどのような体制か。2市が資金を出し合い運営委託するのか。
- (5) 料金設定
- (6) 今後のスケジュール

#### 4 空き家対策について

人口減少社会を迎え、全国的に空き家が増加する中、国は空き家対策として各種の施策を進めている。空き家の放置は、防災面（倒壊・屋根・外壁の落下）、防犯面（犯罪誘発）、ごみの不法投棄、衛生面（害虫・悪臭等の発生）、景観の悪化等、様々な面で近隣住民の生活にも影響を及ぼす一方で、空き家の活用により、地域の活性化を図るきっかけとするなど、全国でも様々な取り組みが行われている。そこで伺う。

- (1) 空家等実態調査の結果について
  - ①市内の空き家数
  - ②地区別の動向
- (2) 次期空家等対策計画の策定について
- (3) 空き家の利活用について
- (4) 空き家に関する相談窓口について
- (5) 印西市の今後のまちづくりと空き家問題への対応について

# 質 問 8

質問者 11番 米 井 重 行

## 1 市内の幹線道路の整備状況の確認

- (1) (仮称) コスモス通り 供用への今後のスケジュール
- (2) 市道 00-031 号線 小林小学校から小林浅間地先までの道路整備及び未買収地の取得状況

## 2 若年性認知症対策について

- (1) 印西市における若年性認知症の現状認識について
- (2) 早期発見・相談体制について
- (3) 家族支援について
- (4) 就労・社会参加支援について
- (5) 周知啓発について

## 3 住み慣れた地域で安心して暮らせる印西市へ

- (1) 在来地区における医療体制・病院問題について
  - ①ニュータウン地区との医療環境格差について、市はどのように認識しているのか。
  - ②印西診療所閉院に対する市の認識について
  - ③大森地区周辺の医療空白への対応について
  - ④病院・診療所誘致への具体的取り組みについて

## 4 市内事業者支援

- (1) 資材高騰・資材不足への市内事業者支援について
  - ①建設資材価格高騰や資材不足の状況把握
  - ②公共工事における資材価格高騰対策
  - ③工期延長や変更契約など、現場実態を踏まえた柔軟な対応
- (2) 異常気象・猛暑環境下における公共工事の安全対策について
  - ①近年の猛暑・異常気象による公共工事への影響について
  - ②現状を踏まえ、設計や積算に反映しているのか。
  - ③猛暑リスクを前提とした発注体制
- (3) 地域経済の循環
  - ①地元受注率向上への取り組み

# 質 問 9

質問者 8番 松 谷 知 美

## 1 福祉施策

### (1) 高齢者就労支援について

- ①技能講習や企業説明会は実際の就労にどの程度結びついているか、成果の把握状況を伺う。
- ②高齢者就労支援センターで実施しているパソコン講習等の実施目的について伺う。

### (2) ボランティアについて

- ①シニア世代に関連する情報を一元的に提供する仕組みについて、ボランティアについては、どのような情報をどのように一元管理する考えか。
- ②以前、ボランティアについて受入れ施設と連携を図り、新たな活動内容の追加や施設での積極的な受入れについて依頼していくとの答弁があった。その後の状況について伺う。

### (3) 住宅等のバリアフリー化について

- ①本市では、共同住宅等のバリアフリー化について、事業者ごとの対応に差があることを課題としている。そこで伺う。現在、共同住宅のバリアフリー化について、開発事業者にどのような指導・助言を行い、どのような成果を得ているか。

## 2 子どもに関する施策

### (1) 不登校について

#### ①補助制度について

- ア 印西市フリースクール等利用児童生徒支援補助金の活用状況について
- イ 印西市民間不登校児童生徒支援施設運営事業費補助金の活用状況について
- ウ 教育支援センターやフリースクールに通う児童生徒について、交通費が発生する場合に活用できる補助制度等はあるか。

#### ②校内教育支援センターについて

- ア 小学校・中学校におけるそれぞれの現状について
- イ 小学校・中学校におけるそれぞれの課題について
- ウ 設置されていない学校について、今後の設置必要性は。

### (2) 学校体育館へのエアコン設置について

- ①以前、早期設置について質問した際、断熱工事を行う関係で設置完了には令和13年度までの期間が必要との答弁であった。その後、令和10

年度までに設置完了予定へ変更された理由を伺う。

(3) 幼児期における学びと成長について

① 幼児教育と小学校教育との円滑な接続について（幼保小連携）

ア 国の施策に基づいた取り組み状況について

② 幼稚園・保育園における芸術鑑賞等の機会について

3 スポーツを通じたまちづくりについて

(1) 次期印西市スポーツ推進計画のアンケート結果について

① 傾向や分析について

② スポーツ分野における新規事業の検討については、アンケートにおいて市民ニーズの把握に努めるとのことであった。新規事業を行う場合、どのような分野・内容が適切と分析したか。

③ 指導者不足の解消については、資格取得支援、経済的サポート、シニア世代等の活用促進の回答が多かった。今後指導者不足解消の取り組みはどのようなスケジュールで検討を進めていくか。

④ プール利用券配布事業について

ア 利用券のデジタル対応を行う考えはないか。

イ 付き添いの保護者の利用を無償化または割引する考えはないか。

(2) スポーツ参画人口拡大に向けた施策について

国では、スポーツ人口の拡大を通じて、国民医療費の抑制や健康寿命の延伸につながる社会の構築を目指している。本市においても、印西市スポーツ推進計画の中でスポーツ参画人口拡大を目標の一つとして掲げている。そこで伺う。

① 市内スポーツ教室の参加状況と、新規参加者の割合をどのように把握しているか。

② 現在のスポーツイベントやスポーツチーム・クラブ等に関する周知方法について伺う。

# 質 問 10

質問者 2番 大野 忠 寄

## 1 道路インフラ整備について

印西市においては、都市部以外の市道では4メートル未満の狭隘道路が多く存在し、生活・農業・通学に使用されています。時には火災・地震などの災害時に支障を来す可能性がある道路でもあり、拡張工事が急務です。

今回は在来地区の自治会からの要望で、幅員2メートルほどの狭小道路沿いに住む10軒の方々から悲痛な声です。まず、車のすれ違いができない、宅配便の車両や火災・地震災害時などに緊急車両が通行できないため、命の危険にさらされる可能性が高いので早期に解決してほしいと懇願されました。

### (1) 市内における狭隘道路について

- ①狭隘道路の割合について
- ②災害時における緊急車両の通行について
- ③狭隘道路拡幅整備要件について

### (2) 道路工事予定箇所の進捗状況について

- ①市道師戸・江川線第二期アスファルト打ち替え工事について
- ②市道岡台・内野線アスファルト打ち替え工事について
- ③龍ヶ谷橋補修工事の工事内容について

### (3) 市道師戸・江川線整備計画の進捗状況について

## 2 中学校部活動の地域移行・展開について

### (1) 部活動地域クラブ移行の現状について

### (2) 令和7年度モデル地域クラブの実施を経て判明した問題点や課題について

### (3) 保護者・生徒からの要望、改善点などについて

### (4) 運営会社アーシャルデザインの実績と選定理由について

## 3 井戸水の水質汚染について

### (1) 水質汚染の現状について

- ①当市における井戸水の水質検査体制について

### (2) 水質検査の補助金制度について

- ①令和6年第1回定例会において「井戸水の水質検査補助金の導入を検討する意向があるか」の問いに「飲料用井戸水の水質検査の補助制度については、他の自治体の事例等も参考にして調査・研究する」との答弁がありました。その後の、検討状況について伺います。

②浄水器補助制度について

令和8年度から「地下水汚染に係る家庭用浄水器設置補助金」の割増し  
引上げが開始されました。新たなる補助制度の内容について伺います。

③浄水器補助制度を活用した井戸水の使用と上水道引込み時の初期費用及  
び水道代の継続費用との比較について伺います。

4 夏祭りやイベント等を主催する団体について

(1) 当市の補助金が交付される要件について

(2) 任意団体への補助金制度について

## 質 問 1 1

質問者 20番 藤 江 研 一

1 印西市における物価高対策の推進状況と課題改善

(1) 印西市における物価高対策の進捗状況

(2) イラン情勢に伴う原油高対策

(3) 高齢者に対する経済的支援の改善検討

(4) 消費税減税が実施された場合の影響

(5) 物流・建築業界への影響と市の対応

(6) 医療用手袋の供給確保

(7) 障がい者の就労継続支援

2 子育て支援、教育の充実

(1) リトルベビーハンドブックの改善

(2) ナッツアレルギーへの対応

(3) 市販薬の過剰摂取問題（オーバードーズ）

(4) デジタル教科書の正式採用と課題

(5) ギフテッドへの対応と支援

(6) 障がいを持つ子どもたちへのドキュメント映画の上映

3 上下水道をめぐる課題と対応

(1) 水道水質基準に PFAS 検査が増加

(2) 肥料原料のリンを下水から回収

(3) 下水道の老朽化全国調査

#### 4 防災関係情報と市民への周知

- (1) 新たな防災気象情報
- (2) 増え始める熱中症への対応
- (3) 災害対策の司令塔「防災庁」設置

#### 5 市民の安全を守る道路環境の整備

- (1) 東の原三丁目造谷川防災調整池脇の通路
- (2) 北総線車両車庫裏の市道の地盤沈下と排水改善
- (3) 街路樹の倒木増加対策

## 質 問 1 2

質問者 14番 増 田 葉 子

### 1 「市独自の新たなまちづくりのルール」は怎么样了か。

一年前に Inzai 5 データセンターの計画公開を受け、「市独自の新たなまちづくりのルール」をつくるために、市民の意見を広く募りました。動画配信された市長の結果説明では、寄せられた市民の意見を事業者にしっかり伝えること、「新たなルール」として「地区計画の見直し」が掲げられました。この一年間、関係するセクターとどのような対話がなされてきたのでしょうか。以下、質問します。

- (1) 寄せられた市民の意見はどのような形で事業者に伝えられたのか。
- (2) 地区計画の見直しに向けて、各地権者とどのような「対話」がされてきたのか。
- (3) 駅圏ごとのまちづくりのルールをつくるという方針も語られているが、具体的に着手されたのか。
- (4) Inzai 5 データセンターは「この場所にふさわしくない」と、市長は、政治家として発言されたと認識しているが、発言の責任は十分に果たされたと考えているか。

### 2 生涯学習部ができてどう変わるのか。

今年度から教育部と生涯学習部が分かれました。組織改編の理由として市長は、「教育長の負担を減らすため」という説明をされましたが、この動機が今後の政策展開にどのように影響するのか、非常に心配しています。そこで

以下の点を伺います。

- (1) 司書資格をもつ職員の採用も始まり、公共図書館と学校図書館の連携において、部が分かれたことの影響はないのか。
- (2) 生涯学習課放課後児童支援係は学童クラブなどの放課後対策事業と学校との連携を強化するため教育部に組織変更されたばかりだが、また部が分かれたことになる。アフタースクールの実施を控えて大丈夫なのか。
- (3) 今年度からスタートする教育ビジョンには生涯学習や文化振興は盛り込まれなかった。当然、「生涯学習ビジョン」は策定されると思うが、どうか。

### 3 相談支援は足りているのか。

障害福祉費のサービス給付費が年々増加しています。先日、子どもの発達に特化した訪問看護事業者が開業したことを知り、市内の支援体制が年々充実していることを喜ばしく思いました。必要なサービスをしっかり利用していただくことは何より大事なことだと考えていますが、一方で、サービスを調整する相談支援が足りているのか心配しています。子ども発達センターでは、非常勤の職員1名が相談支援を担ってきていたようですが、今年度の体制はどうなったのでしょうか。以下、詳細をお聞きいたします。

- (1) 市内の相談支援の体制はどうなっているか。必要量を満たしているのか種別ごとに伺う。
- (2) いわゆるセルフ計画の比率はどうなっているか。
- (3) 相談支援体制の課題をどう認識しているか。

## 質 問 1 3

質問者 12番 岩崎成子

### 1 不登校の児童生徒について

現在、全国的に小中学校への不登校の児童生徒の人数が増加しています。そこで伺います。

- (1) 印西市の小中学校の不登校児童生徒の現状は。
- (2) 不登校児童生徒の人数の推移は。
- (3) 実施されている不登校児童生徒対策の評価は。
- (4) 不登校児童生徒への対応の課題は。
- (5) 不登校児童生徒への今後の取り組みは。

## 2 こども誰でも通園制度について

令和8年4月から「こども誰でも通園制度」が開始しました。保育士不足等でこの制度を見送っている自治体があると聞いています。そこで伺います。

- (1) 印西市の取り組みの現状は。
- (2) 課題は何かあるのか。
- (3) 今後の取り組みは。

## 3 印旛中央土地区画整理事業について

- (1) 進捗状況は。
- (2) 今後の見通しは。

## 4 防災の視点から

- (1) 避難所の環境向上に向けた取り組みは進んでいるのか。
- (2) 災害用備品・備蓄の拡充は進んでいるのか。
- (3) 女性の防災人材の育成は進んでいるのか。
- (4) 避難所における女性への支援策は充実しているのか。
- (5) 災害弱者への支援策は充実しているのか。

## 5 印西市プレミアム付デジタル商品券について

市民への物価高騰対策として、印西市プレミアム付デジタル商品券が令和8年3月2日から1次販売、2次販売として4月15日より実施されました。そこで伺います。

- (1) 取り組みへの評価をどのように捉えているのか。

## 6 障がい者福祉について

当市においては、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるための基盤整備として地域生活を支えるグループホームや入所施設等の拡充に努めていることと思います。そこで伺います。

- (1) 障がいのある人の現状は。
- (2) 障がいのある人の数の推移は。
- (3) 障がい者福祉施設の整備状況は。
- (4) 障がいのある人を災害から守るための施策は充実しているか。

# 質 問 1 4

質問者 1 3 番 海老原 作 一

## 1 樹木による事故防止について

### (1) 市の管理する公園及び道路における樹木の倒木リスクについて

- ①市の管理する公園及び道路におけるそれぞれの樹木（高木）の数を伺う。
- ②樹木の倒木リスクの点検管理をどのように行っているか伺う。
- ③伐採の処分基準はどうなっているか伺う。
- ④歩行者等の通行の妨げや車両の通行の妨げとなる枝の張り出しに対する対応を伺う。

### (2) 私有地から道路に張り出している竹木による事故の防止について

- ①道路法第43条において禁止されている竹木等による行為を未然に防ぐための市の関与について伺う。
- ②民法第717条第2項の規定である「竹木の栽植又は支持に瑕疵がある場合」にも第1項が準用されるとある。所有者が賠償責任を負う可能性について啓発していく必要性について伺う。
- ③私有地から竹木が道路に張り出すことによる事故の可能性を排除するために、誘導する補助金の創設を考えてはどうか伺う。

## 2 外来生物（植物）の生息状況及び繁茂の抑制について

### (1) 市内で確認できる外来植物について

- ①市内に生息する外来植物をどのように把握しているか伺う。
- ②外来植物の環境等に対する影響をどう認識しているか伺う。

### (2) 外来植物の繁茂抑制のための施策及び事業について

- ①これまでの市域全体に対する市の取り組みについて伺う。
- ②市道並びに市有施設における外来植物の扱いについて伺う。

## 3 印西市人材戦略について

印西市人材戦略の序文において、『本市においても、複雑化し、高度化する行政ニーズに対応していくため、人材をコストではなく、投資すべき資本として捉える「人的資本経営」の観点から、組織づくり・人づくりを推進していきます。』とあり、「人的資本経営とは人材を組織成長の中心に据える。」そして、「本市においても、これを行政経営に応用し、職員の成長が市の価値創出と連動する人材戦略へと進化させます。」としています。そこで以下の質問をする。

- (1) 人材ポートフォリオについて伺う。
- (2) 人材プールについて伺う。

(3) 職員のウェルビーイングを支える組織的な支援体制の構築について伺う。

## 質 問 1 5

質問者 6番 都 築 真理子

### 1 救急搬送時における地域連携について

#### (1) 救急搬送時における現状について

- ①独居高齢者・生活保護受給者・障がいのある方等が救急搬送される際、市ではどのような課題があると認識しているのか伺います。
- ②緊急連絡先や身元引受人の確認が困難なケースについて、市は実態を把握しているのか伺います。
- ③身元引受人等の確認が困難な場合、関係機関とはどのような連携が行われているのか伺います。

#### (2) 福祉部門と関係機関との連携について

- ①独居高齢者・生活保護受給者・障がいのある方等に関する情報は、本市においてどのような連携が図られているのか伺います。
- ②地域包括支援センター、民生委員、障がい福祉関係機関等との連携状況について伺います。
- ③緊急時に必要となる情報共有について、個人情報保護とのバランスをどのように考えているのか伺います。

#### (3) 今後の支援体制について

- ①救急医療キットや緊急連絡カード等の普及啓発について、市の取り組みを伺います。
- ②身寄りのない方や支援を必要とする方が安心して医療に繋がるための体制整備について、市の考えを伺います。
- ③今後、救急時における関係機関との連携強化をどのように進めていくのか伺います。

### 2 投票方法のデジタル化について

#### (1) 電子投票に対する本市の認識について

- ①電子投票により無効投票防止へと繋がるが、いままで無効投票数の割合はどのようになっているのか伺います。
- ②開票時間短縮や事務効率化への認識について伺います。
- ③職員負担軽減への効果について伺います。

- ④本市としての課題認識について伺います。
- (2) 行政DXの観点からの投票方法について
  - ①書かない窓口等との連携した考え方について伺います。
  - ②行政手続きデジタル化との統合性について伺います。
  - ③将来的な選挙DXの可能性について伺います。
- (3) 市民サービス向上の観点について
  - ①高齢者や障がい者への配慮について伺います。
  - ②外国人住民への対応可能性について伺います。
  - ③投票しやすい環境整備について伺います。
  - ④若年層の投票率向上への期待について伺います。
- (4) 今後の研究・検討について
  - ①他自治体事例の情報収集について伺います。
  - ②実証実験等への考え方について伺います。
  - ③将来的な導入研究の必要性について伺います。
  - ④国の動向把握について伺います。

### 3 パートナースhip、ファミリーシップ制度について

- (1) 本市の認識について
  - ①全国自治体の導入状況について伺います。
  - ②制度の目的と効果について伺います。
  - ③本市としての認識について伺います。
  - ④市民ニーズの把握状況について伺います。
- (2) 行政サービスにおける配慮について
  - ①市営住宅等での対応について伺います。
  - ②行政手続き上の課題認識について伺います。
  - ③病院・福祉分野での配慮について伺います。
- (3) 今後の研究・検討について
  - ①他自治体例の調査研究について伺います。
  - ②千葉県内自治体との連携について伺います。
  - ③制度導入に向けた課題について伺います。
  - ④今後の検討の方向性について伺います。

# 質 問 16

質問者 5番 津 田 憲 吾

## 1 市内の歩道の管理状況について

市内には、多くの歩道が存在するが、その保全・管理については、種別に  
応じて管理管轄が異なる。民間所有地に存する歩道の扱いについて、当市で  
はどのような管理体制となっているのか。現状の認識について伺う。

- (1) 市内の民間所有地に存する歩道の現状について
- (2) 今後について

## 2 人口動態について

多くの地域では人口減少に伴って、地域社会や環境が変わっていくことに、  
いかに対処していくかが課題となっている。当市としての将来ビジョンを描  
くには、まずは現状の把握をしなければならず、基礎データとして人口動  
態の分析が必要である。

- (1) 人口の地域別・世代別・人口流出・転入状況の把握については、現状を  
どのように認識しているか。
- (2) 5年後、10年後の人口動態の分析について
- (3) 今後の対応策について

## 3 スポーツ推進について

当市では令和4年3月に「印西市スポーツ推進基本計画」を策定している。  
スポーツへの参加機会の拡充や、スポーツ団体、指導者への支援などの取り  
組みなど市民が運動・スポーツを楽しむことができる社会を目指して基本目  
標を設定している。

- (1) スポーツ参画人口の拡大と人材育成の現状と課題について
- (2) スポーツ環境の充実に関する現状と課題について
- (3) スポーツを通じた共生社会の実現と地域の活性化に関する現状と課題  
について

# 質 問 17

質問者 3番 加藤 亮二

## 1 国際情勢の不安定化に伴う市民生活・行政サービスへの影響と危機管理について

現在、世界では中東情勢の緊迫化やロシアによるウクライナ侵攻の長期化など、国際秩序を揺るがす深刻な事態が続いている。こうした戦争や紛争は人道上到底看過できないものであると同時に、原油価格、食料価格、物流、原材料供給などを通じて、私たちの暮らしにも影響を及ぼしている。

身近な例では、プラスチック製品の原料となるナフサの供給が不安定化し、指定ごみ袋が品薄となったため、代替袋の使用を認める自治体も現れている。また、食料品、光熱費、福祉・医療・保育分野における運営経費の上昇も、市民生活や行政サービスの継続に関わる重要な課題である。

本市においても、物価高騰対策として各種支援事業が実施されているが、今後は単なる価格上昇への対応にとどまらず、国際情勢に起因する供給不安や生活必需品の不足、行政サービス継続への影響をどのように把握し、備え、市民へ情報発信していくかが問われている。

そこで、国際情勢の不安定化に伴う市民生活及び行政サービスへの影響と、本市の危機管理、支援策、情報発信のあり方について伺う。

- (1) 国際情勢の不安定化に伴う原油価格、食料品価格、資材価格等の高騰が、本市の市民生活及び行政運営に与えている影響をどのように把握しているか。
- (2) 給食、医療機関、介護・障がい福祉サービス事業所、公共施設の光熱費など、物価高騰の影響を受けやすい分野に対する本市の支援状況と今後の課題をどのように認識しているか。
- (3) 指定ごみ袋をはじめ、市民生活に不可欠な物品について、供給不足や品薄、購入制限等の状況を市としてどのように把握し、今後の安定供給に向けた対応はどのように考えているか。
- (4) 生活必需品の品薄や代替対応が必要となる場合、市民の不安や買いだめを防ぐため、市としてどのような情報発信や周知体制を取る考えか。
- (5) 国際情勢に起因する物価高騰や供給不安が長期化した場合に備え、市民生活と行政サービスを守るための庁内横断的な危機管理体制を構築する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

## 2 印西市観光協会の現状と今後の観光振興体制について

特定非営利活動法人印西市観光協会において、令和5年度に市から交付を受けた印西市観光振興事業補助金に関し、不適切な会計処理が行われた疑い

があるとの報告がなされ、市は今後、監査委員に対して監査請求を行い、過去の補助事業における会計処理の適正性が明らかになるまで、観光協会への補助金交付を行わない予定であるとしている。公金に関わる補助事業である以上、会計処理の適正性と透明性は厳正に確認されるべきである。一方で、観光協会は、これまで観光情報発信、地域イベント、舟運事業などを通じて、本市の魅力を市内外に発信し、地域活性化や交流人口の創出に大きな役割を果たしてきた団体である。こうした役割を踏まえると、これまで観光協会が担ってきた事業や機能を今後どのように継続、代替、再構築していくのかは、本市の観光振興にとって重要な課題である。

そこで、今回の事案に対する市の対応状況を確認するとともに、観光協会がこれまで果たしてきた役割への評価、今後の観光振興体制のあり方について伺う。

- (1) 観光協会における不適切な会計処理の疑いについて、市が現時点で把握している概要、調査の進捗、今後の対応方針を伺う。
- (2) 観光協会がこれまで本市の観光振興に果たしてきた役割と実績を、市としてどのように評価しているのか伺う。
- (3) 観光協会の事業継続が不透明な状況にあること、また、観光情報館の閉館による市民、来訪者、観光関連事業者、地域団体等への影響をどのように認識しているのか伺う。
- (4) これまで観光協会が担ってきた観光情報発信、イベント支援、地域資源の紹介等について、市として今後どのように継続、代替、または再構築していく考えか伺う。
- (5) 補助金の適正執行や団体運営の透明性を確保しつつ、観光協会、地域団体、民間事業者、市民ボランティア等との連携を含め、今後の観光振興体制をどのように再構築していく考えか伺う。

### 3 市内における大型貨物車両の通行規制の実効性と生活環境・交通安全対策について

市内には、大型貨物車両の進入禁止を示す標識が設置されている地域がある。小林地域をはじめ、木下、大森など、市内の広い範囲に関わる規制であるとも聞いているが、地域住民からは、標識があるにもかかわらず大型トラックの通行が多く、騒音や振動、生活道路の安全に不安を感じているとの声が寄せられている。

また、現地の標識だけでは、どこが規制区域であるのか、どの道路が対象であるのか、市民や事業者にとって分かりにくい状況もある。許可車両や除外車両が存在することは理解するものの、住民からは、規制が適切に守られているのか、取締りが行われているのかが見えにくく、不信感にもつながっている。大型貨物車両の通行規制や取締りは警察の所管であるが、生活道路や通学路の安全確保、さらには騒音・振動など生活環境への影響は、市民生

活に直結する重要な課題である。

そこで、市として、規制内容の把握をはじめ、住民や事業者への分かりやすい周知、通行実態や生活環境への影響の把握、事業者への交通ルール遵守の要請、並びに警察・県・道路管理者との連携について伺う。

- (1) 市内における大型貨物車両の通行規制について、市として対象区域、対象道路、対象車両、規制の目的をどのように把握しているか。
- (2) 大型貨物車両の通行に伴う騒音、振動、生活道路の安全に関する市民からの相談や要望について、市としてどのように把握しているか。
- (3) 現地の標識だけでは、規制区域や対象道路が地域住民にとって分かりにくい状況がある。市として、規制区域や規制内容について、地域住民に分かりやすく情報提供する必要性をどのように考えているか。
- (4) 市内外の物流事業者、建設事業者、配送事業者、開発事業者等に対し、通行許可申請の必要性や、生活道路・通学時間帯への配慮など、地域交通ルールの遵守について周知・要請を行う考えはあるか。
- (5) 大型貨物車両の通行規制の実効性を高めるため、印西警察署、千葉県、道路管理者等と情報共有を行い、必要に応じて通行実態の確認や取締り強化を要請する考えはあるか。

## 質 問 1 8

質問者 1 番 大 崎 亜 希

### 1 多様な学びと安心を支える学校環境について

#### (1) 学びの選択肢としてのラーケーションについて

ラーケーションとは、学び「ラーニング」と休暇「バケーション」を組み合わせた言葉で、保護者の休暇等に合わせ、平日に家族で過ごしながら、学校外での体験活動を学びとして位置付ける取り組みです。近年、他自治体において多様な学びの一つとして「ラーケーション」を導入する動きが広がっている中、本市としての考えを伺います。

- ①現在、ラーケーション制度について、国や自治体の動向をどのように把握されているのか、本市の認識を伺います。
- ②学校での体験活動や、家庭での学びを教育視点からどのように評価されているか伺います。
- ③今後の県の動向や他自治体の事例をどのように捉えているのか伺います。

## (2) アナフィラキシーショック対応について

近年、食物アレルギー等によるアナフィラキシーショックへの対応が重要視される中、令和7年9月には、アドレナリン点鼻薬ネフィーが国内承認され、新たな緊急時対応薬として注目されております。

学校現場においてはどのように導入・活用していくのか、伺ってまいります。

- ①市内の小中学校において、食物アレルギー等によりアナフィラキシー対応を必要とする児童生徒を、現在どの程度把握しているのか伺います。
- ②アナフィラキシー発症時における対応マニュアルやエピペン使用時の体制整備は、どのように行われているのか伺います。
- ③新たに承認されたアドレナリン点鼻薬ネフィーについて、どのように認識されているのか伺います。
- ④教職員が安心して対応できる体制づくりについて、どのように取り組んでいくのか伺います。

## 2 デジタル技術を活用した危機管理体制

### (1) 災害時及び平時におけるドローンの活用について

近年、災害時を始め、様々な分野においてドローンの活用が全国的に進んでおります。そのような中、本市における今後のドローンの活用について伺います。

- ①災害時には被害状況の確認だけでなく、情報収集や、孤立地域への物資輸送など、ドローン活用の幅も広がっていくことが想定されます。  
そこで、本市として今後どのような準備や訓練、運用体制づくりを進めていく考えなのか伺います。
- ②大雨や台風時における土砂崩れや道路寸断等により、一時的に孤立が想定される地域など、本市における災害リスクの把握について伺います。
- ③避難所や孤立が想定される地域への防災ルート（飛行経路）を平時から設定、確認しておくことが重要であると考えますが、本市の見解を伺います。
- ④本市におけるドローンの活用と今後の運用について伺います。

### (2) 自治体におけるサイバーセキュリティ対策について

デジタル技術の活用が進む一方で、サイバー攻撃による被害を受ける企業や自治体も少なくない中、本市の行政機能を守るためのサイバーセキュリティ対策について伺ってまいります。

- ①サイバーセキュリティ対策の基本的な考え方と、現在の体制について伺います。
- ②万が一、サイバー攻撃が発生した場合、市民の個人情報や行政情報を守るための対策について伺います。

③学校現場での児童生徒の個人情報保護対策について伺います。

### 3 公共財産の適切な維持管理

#### (1) 公園における花火利用の考え方について

花火は子どもたちや家族にとって身近な季節体験の一つであると考えます。一方で、公園における火気使用については、安全性や近隣環境への配慮も求められております。また、近年では一定のルールを設けた上で、一部公園での花火利用を認めている自治体も見受けられることから、本市の考え方について伺います。

①現在、本市における公園での花火利用について、どのようなルールや考え方で運用されているのか伺います。

②公園での花火の利用などに関して、これまで住民からの相談や苦情は寄せられているのか伺います。

#### (2) 公共財産の適切な維持管理について

公共財産は、市民共有の大切な財産であり、安全性や利便性を維持していくためには、適切な維持管理が重要であると考えます。

近年では、設備の老朽化や自然環境の変化による劣化なども課題となっていることから、本市の現状と今後の対応について伺います。

①公共設備の棄損や故障として多い事例にはどのようなものがあるか伺います。

②街灯、防犯灯などの公共設備について、老朽化や劣化に対する点検や把握はどのように行われているのか伺います。

③公共設備の老朽化や棄損した設備による事故を防ぐためにも、今後どのように点検や維持管理を進めていくのか、考えを伺います。

## 質 問 19

10番 小川利彦

### 1 在宅医療と訪問診療の現状と医療機関への支援について

市民が安心して暮らせる街となるには、近くにある診療所の充実が不可欠であると考え、市内の診療所と市の関わりについて伺います。

(1) 訪問診療（在宅療養支援など）を提供している医療機関数、利用者数の推移について

(2) 市民や医療機関から、在宅医療の「受皿不足」や「夜間緊急時の対応」

に関する不安や課題について

## 2 有害鳥獣等の対策について

市内での有害鳥獣等の目撃情報が数多く寄せられており、昨今では小動物系の被害も発生しております。

このことから、印西市としての対応について伺います。

- (1) 有害鳥獣等の捕獲状況と推移について
- (2) 地区対策会への支援状況について
- (3) 緊急銃猟について
- (4) わな免許の状況について
- (5) 小動物系の捕獲状況と支援について
- (6) 市内のカミツキガメの捕獲状況について
- (7) 今後の対応について

## 3 師戸地区内の市有地について

以前から一般質問等で伺っております市有地の農地について、利活用方法と今後の対応方法について伺います。

- (1) 農地の利活用について
- (2) 今後の対応について

## 4 市道の維持管理について

- (1) 印旛沼二期農業水利事業の工事が終了した場所において、市道復旧後の維持管理について

- (2) 市道に越境している雑草や樹木の対応について

①市道管理の観点から、市道の車道高4.5mと歩道高2.5m以内に越境している樹木の剪定について市からお願いをされているが、市民に伝えたい趣旨について伺います。

②土地所有者に適切な管理をお願いすることは認識しているが、所有者が対応困難な場合について市としての対応はどうか伺います。